



大田区議会議員

フェアな民主主義

奈須りえ
【所属委員会】
常任委員会 健康福祉委員会
特別委員会 羽田空港対策特別委員会



奈須りえホームページ: <http://nasurie.com>
奈須りえブログ: <http://ameblo.jp/nasurie/>

ツイッター / facebook でも情報発信中!

【事務所】〒143-0024 東京都大田区中央2-11-5
TEL:03-6303-8671 FAX:03-6303-8672
E-Mail: office@nasurie.com



Profile

1961年 東京都生まれ
● 東洋英和女学院高等部卒業
● 東洋英和女学院短期大学卒業
● 青山学院大学卒業
● 大田区立調布大塚小学校PTA副会長
1992~1997年 夫の転勤に伴い香港在住
2003年 大田区議会議員初当選 現在4期目
■ 市民シンクタンクまちづくりエンパワメント
■ 景観と住環境を考える全国ネットワーク
■ 呑川ネットワーク連絡協議会
■ 戦争をさせない1000人委員会
家族構成 ● 夫、子ども3人(長男、男女の双子)
大田区北千束在住

フェアな
民主主義を!



区の税負担が減っている説明にはなりません。

これを見て、私は、国立大学授業料の推移を思い出しました。1975年の国立大学の年間授業料は約3万6千円でしたが、現在は約54万円です。これは、税金投入額が減った分、国民が授業料で負担させられている構図ですが、同じことが保育の現場で起きているのです。

今回の改定で、運営経費のかかる0歳児の保育料を設定するとともに高額所得層の負担をより重くしました。大田区はこれを「保育という受益を受けているのだから、受けていない人との公平性をはかるため」と説明しています。

しかし、大田区の税負担を軽減し、そのつけを利用者である区民に押し付けるかたちで、公平性とは名目して見えています。

大田区は保育料を引き上げることで1億7000万円の増収を見込んでいます。保育料は引き上げるべきだったのでしょうか。

大田区は保育料を引き上げることで1億7000万円の増収を見込んでいます。保育料は引き上げるべきだったのでしょうか。

公平性を言うなら、まず、認可保育園と認証保育所の保育料の不公平を解消すべきです。

保育のための増税増収分108億円がイベント・箱物・開発に

小泉政権の三位一体の改革で保育が国から大田区の責任に変わったとき、国からのひも付き財源がなくなり、その分住民税の定率化で増税されるなど2006年から2007年に大田区だけで自由に使える財源が108億円増えました。

保育のためと増税していますが、大田区は、区政70周年の記念事業5800万円、空の日のイベント4000万円に使い、蒲蒲線1800億円、羽田空港跡地開発500億円などに使おうとしています。

何のための増税増収だったのでしょうか。

大田区は保育料を引き上げることで1億7000万円の増収を見込んでいます。保育料は引き上げるべきだったのでしょうか。

区政情報をお届けしています。みなさまのご意見を奈須りえにおよせください。

えっ、外国投資家利益のためだったの!?

課題を放置し、優先度の低いところに流れる税金

誰のための大田区政なのか、と思う場面が増えていきます。

それが大田区の最優先課題ではないでしょうか。

規制緩和による無法地帯化がまねく、弱肉強食・自己責任

行政として取り組むべき子育てや介護の需要が足りていない中、区政70周年だからと花火を5000発から7000発に増やし、山田耕作作曲の区歌があるのに区政70周年でイメージソングを作り、新しい大田区のイメージキャラクターを作るなど、まるで民間企業のようにPRに莫大な税金を使っています。区民が毎日の暮らしの中で必要なセーフティネットを張りめぐらせる地道な事業こ



がり、弱肉強食で自己責任の範囲が広がる構図です。「公助」を担う責務主体の大田区が「自助」や「共助」を強調するのも、この特区による規制緩和が進んでいることと無関係ではありません。

松原大田区長は国家戦略特区で低賃金・雇用の流動化、医療費高騰まねく規制緩和に「ぜひ協議」

松原忠義大田区長は、国家戦略特区による規制緩和を区長の目玉政策として積極的に進めようとしていて、国のワーキンググループで「雇用規制をさらにゆるめることや医療圏ごとに定められているベッド数を増やすこと、外国人医師に日本で医療行為を行わせること」については非協議したいと発言しています。

雇用規制の緩和で、企業は経営の効率化をはかれますが、区民の雇用は不安定になり、所得は下がります。空港の近くでベッ

制は、私たちの権利を基本的な人権を守るために存在しています。それを緩和すれば、法で守られている私たちの権利は無防備になります。規制緩和が進めば進むほど、無法地帯が広

知っていますか?

「保育料値上げ」安くないんだ民営化

保育料値上げ安くないんだ民営化

大田区は「公平性」受益と負担などの視点から認可保育園保育料全体での引き上げを決め、大田区議会は、これを自民・公明・民進・維新など賛成多数で可決しました。

大田区負担が減り、利用者負担割合が増えている保育園運営費

私は、運営経費に占める利用者負担割合がどのように変化しているのかに注目してみました。

民営化前の2003年に10.4%だった利用者負担割合ですが、2014年には12.3%に増えていて、今回の引き上げで12.6%になると試算しています。保育園定員が増えているため、運営費総額が増えるのは仕方ないことですが、この間民営化も進めているのに、利用者負担割合が上がり、大田



大田区も直撃！ TPPと国家戦略特区 (表面からのつづき)

区民の払った税金を区民のために効果的に使う仕組みを

大田区も例外ではない
TPP

こうした規制緩和による経済政策は、区民生活だけでなく、経営者とその従業員という形でも大きな影響を及ぼします。

たとえば、大田区では、建設工事や物品調達などにおいて、大田区内業者に限定した入札を行っています。

ところが、TPPはこうした国や地域に限った制限も経済障壁とみなします。

TPPは、外国資本が入札や契約に参加できるようにするためのしくみだからです。政府は、対象事業は、国と都道府県や政令市に限ると説明していますが、協定文書には「協定締結後3年以内に適用範囲の拡大を達成するため地方自治体も含んだ交渉を開始する」と書かれています。

最近、規模の大きな事業者が大田区の仕事をとる、契約そのものの規模が大きくなっているように見えます。平成28年第三回定例会では、解体と建設の一括発注議案が可決されています。大手ゼネコンがプロポーザルで受注した大田区役所の耐震補強工事は、上限24億円と高額なうえ、点検を行わなければならない状況で、白紙委任のような状況です。

現時点での対象金額は、物品3300万円、建設24億7000万円、建設技術サービス2億4000万円、その他サービス3300万円以上となっていますが、対象が広がり金額が引き下げられれば、区内事業者や区民生活への影響も拡大します。

公共調達の外国資本への開放が低賃金・低所得化を招く

受託会社が変わっても、

現場で働く人は同じ、という話を聞きますが、TPPによって外資が大田区の契約をとっても、働く人は同じで、賃金下がったり、下請け、孫請けの利幅が少なくなったりするかも知れません。

今後は、水道、道路、建物などインフラをはじめあらゆる公共調達について、民営化も視野にいった外資との競争がおきる可能性が高いのです。

私は、TPPなど自由経済貿易で経済障壁が無くなったとき、最も大きな影響をうける分野の1つがこの公共調達であると考えています。

大田区が区内事業者を優先してきたのは、区民の雇用を守り、区内の調達で税金がまわるとともに区内事業者がより大きく育つことを期待しているからです。

最近、規模の大きな事業者が大田区の仕事をとる、契約そのものの規模が大きくなっているように見えます。平成28年第三回定例会では、解体と建設の一括発注議案が可決されています。大手ゼネコンがプロポーザルで受注した大田区役所の耐震補強工事は、上限24億円と高額なうえ、点検を行わなければならない状況で、白紙委任のような状況です。

こうした大きな契約は、まるで大田区自ら外国資本に市場開放の準備をしているようです。

区民の税金が区民の雇用・経済を支え、環境などを守る仕組みを！

しかし、日本の7割の雇用を支えているのは中小企業です。

日ごろの維持管理を怠り、まとめて大規模工事を大規模事業者に発注するより、手間がかかっても、地域の中小業者にこまめに発注することで、長く大切に区民の建物の維持管理をすべき。物品調達すべきというのが私の基本的な考え方です。

グローバル化の潮流の中で、区民生活を守り、区民の雇用を守るのは大田区の責務です。

TPPなどの貿易自由化により入札や契約を自由化すれば、税金の一部が外国投資家に流出し再投資される保証はありません。

TPPという一つの危機を機に、少なくとも公共調達については「区内で安定的な雇用を支え、区内調達で循環経済に資する」「法令順守は当然のこととして、環境を守り、障害者雇用を支えるなど社会的責任を果たす事業者を評価する」といった政策入札・公契約条例など、区民の税金を地域内で循環させ区民のために使うしくみが必要です。



2016年の

奈須りえ 頑張ってます!! 主なトピックと書籍紹介

▶2016年3月26日
NO!リニア ゆっくりウォークと櫻田さんの学習会レポート



▶2016年4月13日
受けとるだけじゃつまらない ミナセンTV ～参議院選挙と市民メディアの可能性～



▶2016年4月19日
国連が問題視する日本の「表現の自由と秘密保護法とメディアへの圧力」と大田区政
～国際社会の視点から～
講師 藤田早苗氏:コメンテーター 武井由起子氏:コーディネーター 奈須りえ



▶2016年4月23日
女性×政治＝社会をかえる! 怒れる女子会 私たちの声を議会へ



▶2016年4月26日
宇都宮健児さんを囲んで語ろう 貧困・くらし・原発・戦争 ～どうする国政選挙



▶2016年4月29日
上映会「日本と原発 4年後」



▶2016年5月4日
シンポジウム たねが危ない2

▶2016年5月14日
第41回マガ9学校「国会が100倍楽しくなるホントの政治の話」
講師:山本太郎氏 ゲスト:雨宮処凛氏

▶2016年5月21日
東京自治問題研究所 記念公演
国家戦略特区について

▶2016年5月24日
階猛さんと緊急事態条項についての対談

▶2016年5月28日
No!リニアゆったりカフェ (土) 13:30～15:30

NO!リニア「ゆっくりウォーク」を振り返る
▶2016年6月5日
「東京は標的の村になる」
奈須りえ×アサービナード講演会



▶2016年6月8日
羽田空港問題国交省交渉

▶2016年6月19日
ピース会講演

国家戦略特区について

▶2016年7月9日
パルシステム 国家戦略特区について講演

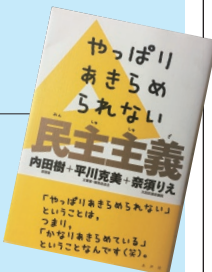
▶2016年7月16日
大阪 水道民営化講演

▶2016年7月20日
国交省交渉

▶2016年8月19日
全国政策研究集会2016in国立市
国家戦略と区とTPP講演
▶2016年9月17日
NO!リニア ゆったりカフェ

書籍・
記事掲載図書
のご紹介

やっぱり
あきらめられない
民主主義



水声社
(共著)
内田 樹
平川 克美
奈須りえ

世界 2016年11月号



岩波書店
特集 首都の難問
～どう解決するか
[対談]
羽田空港
「海から入って海へ出る」を手放すな
～新飛行ルート問題を考える
奈須りえ(大田区議)×
秀島一生(航空評論家)

◎ティーパーティーへのお誘い

奈須りえと一緒に井戸端会議のようにお茶を飲みながら気軽に話ませんか?

参加費 ¥300

時間: 第1水曜日19:00～
第1金曜日10:00～

場所: 奈須りえ事務所

*やむを得ず、急ぎよ予定が変わることもありますので、念のため事務所にご連絡ください。



フェア民

市民のための ◎フェアな民主主義学校

定員: 若干名 地方政治を良くしたいという熱い想いの持ち主募集! 講座は月1回程度(土曜日午前中・平日夜・早朝)

大人のための ◎社会科教室 開催中

毎月 第四金曜日 10:00～12:00

参加費 ¥500

場所: 蓮沼「きまぐれ八百屋 だんだん」
大田区東矢口1-17-9 池上線蓮沼駅から徒歩1分
連絡先 03-3736-4006

*やむを得ず、急ぎよ予定が変わることもありますので、念のため事務所にご連絡ください。

◎今後の主な活動スケジュール

足立力也講演会
【軍隊のない国コスタリカに学ぶ平和・民主主義】
▶11月19日(土) 18:00～20:30
足立力也コスタリカ研究家・奈須りえ
場所: 田園調布富士見会館多目的ホール
参加費: 1,000円

シンポジウム
【どうなってるの日本の水】
世界に逆行して進もうとしている水の民営化の状況を学びます
▶11月20日(日) 13:00～16:00
橋本淳司・内田聖子・奈須りえ
場所: 明治大学 リバティータワー1101 資料代: 500円



イベント
【STOP リニア 訴訟を応援】

▶11月26日(土) 13:30～16:00
格調高い口頭弁論をした慶大名誉教授 川村晃生さんから現状報告や、私たちにできることを伺います。
場所: カフェヴェルデ 東京都大田区山王3-7-3
連絡先: 03-5709-7520

◎フェアな民主主義 奈須りえ [政務活動ボランティア] 募集!

事務所までご連絡ください ●連絡先: 大田区中央2-11-5 TEL.03-6303-8671 FAX.03-6303-8672 office@nasurie.com



フェアな
民主主義を!

